



## コロナハラスメントを

しない・させない・ゆるさない



御家庭でも、話し合ってください。

日本赤十字社が提唱する、新型コロナウイルス感染症が引き起こす、3つの感染症をご存知ですか。

- ①体の感染症 ……病気そのもの
- ②心理的感染症 ……先が見えない不安や恐れ
- ③社会的感染症 ……差別や偏見

この3つが負のスパイラルとなって、さらに感染症が拡大するというのです。県教育委員会をはじめ、各小中学校等では、特に③の「差別や偏見」の心が芽生えないように、定期的に学習したり、話し合ったりしています。本校でも、3つの感染症を紙芝居を使って説明したり、知事からのメッセージなどを分かり易く解説したりしています。

上記のイラストを見た事はあるでしょうか？香川県が推奨している、NOコロナハラスメントの運動です。観音寺小もサポート隊と共に啓発キャンペーンに参加しています。

裏面は、1月に県人権・同和教育課から届いたお手紙です。各学年段階に応じて指導をしています。今後も、学校だよりなどで、情報や資料を提供しますので、御家庭でも話し合ってみてください。



## 2/20の授業参観について

先日お知らせしたように、2月20日(土)に延期した、本年度最後の授業参観は、県内、特に三観地区内の感染症の状況を見て、2月8日(月)に実施の有無を判断し、御連絡します。しかし、例えその時点で実施を決めた場合も、その後、当日までの状況で、授業参観を急遽中止にする場合もあります。

その場合、混乱を招かないために、現時点で以下のような対応としますので、御理解・御協力ください。

○20日(土)の授業参観が中止の場合。

参観は中止でも、児童は登校日とします。  
午前授業で、11:50に下校します。

○上記の場合も22日(月)を振替休業日とします。

(前略)写真を撮る時によくするピースサイン。この形は、英語の何という文字を表していますか？「V」ですね。このVの字を大切にしている生き物があります。鳥の中に渡り鳥といって、北の寒い国から、冬になったら南の暖かい国へ、長い長い距離を飛んでいく鳥がいます。その渡り鳥の中に「がん」という鳥がいます。がんは、海の上を何千kmも飛んで渡るとき、仲間とある工夫をします。1匹が先頭になり、その斜め後ろに1匹ずつ、2匹が飛ぶのです。そして、その次の2匹は、またその斜め後ろを飛びます。なぜ、こんなことをするのでしょうか？それにはこんな理由があります。がんが大きな翼で飛ばなくと、その翼の先から後ろに、下に向かう空気の流れができます。すると下げた翼の両側に、逆の下から上に流れる上昇気流ができるのです。先頭のがんの、斜め後ろを飛んでいるがんは、この上昇気流にのって浮くので、楽に飛べ、飛ぶためにあまり多くのパワーを使わなくてもよくなります。半分くらいエネルギーで飛べるそうです。さらに、その後ろを飛ぶがんも、また同じように楽に飛べるのです。がんは次々と前のがんの斜め後ろを飛び、大きなV字をつくって飛ぶのです。でも、先頭のがんだけは、上昇気流がないので大変です。長く飛ぶと、その1匹だけが疲れてしまいます。ここで、がんは「協力」するので、疲れきった先頭のがんは、一番うしろに回り、上昇

気流を利用して楽に飛びます。そして、2番目に飛んでいたがんの1匹が、代わりに先頭を飛ぶことができます。これを、次々繰り返して、がんは群れで遠くまで飛ぶことができるのです。1匹では疲れて飛ぶことができない長い長い距離を、交代で協力して飛ぶことによつて、みんなが遠い所にある暖かい国に渡っていくのです。また、もし1羽のがんが疲れて、このV字から離れてしまいうようなことがあると、すぐ2匹のがんがそのがんの所に飛んでいき、3匹でV字をつくって助けるそうです。すごい協力ですね。

残りの3学期、それぞれのクラスで、がんのV字飛行のように、「協力」して進んでほしいと思います。時には、先頭にたつてください。疲れたり、困ったりしたら、別の子が先頭にたつてあげてください。周りをよく見て、疲れたり困ったりした子がいたら、がんのように、みんなで声を掛け、助けてあげてください。

この学年の終わりに、クラスみんなが「Vサイン」ができるように、がんぼつていきましよう。

